



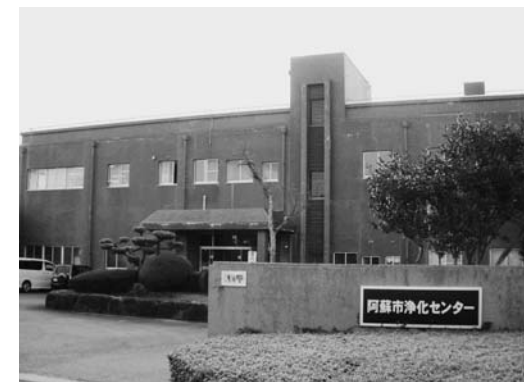
松永 勲

松永 平成17年12月2日に告示された阿蘇市条例施行規則の一部改正により、平成17年11月までに整備された内牧地域及び乙姫地域と、それ以降に整備される地域において、受益者負担金に地域格差が生じている。法の下の平等性、公平性という観点から、同一事業で受益者負担金に地域格差があつてはならないと思つが、

阿南土木部長 同一事業の中で、ある時期を境に、負担金に格差（不公平、不利益）が生じていると思つます。

市長 審議会がよく検討されたうえで、答申、実行されたということであり、きちつと精査する必要があります。

松永 下水道受益者負担金に関する条例施行規則について、見直しを含めて検討する必要があると思つが、



下水道の最終処分場（阿蘇市浄化センター）

松永 国の交付税等が減額されていく中、市財政も一段と厳しくなつていくと思つが、平成20年度の予算の見直しはどうか。また、市長としての政策的予算、目玉となるものがあるか。

井手 原油の高騰で、打撃を受けている農家への市支援は、

岩下教育部長 各給食センターとも週に3回から4回弱の割合で、米飯給食を行っています。JAを通じ、地元阿蘇コシヒカリを学校給食会から納入しています。

井手 今後、小麦等の価格も上昇が予想されるが、できるだけ地元の米を使った米飯給食にしてほしいと要望する。

井手 旧一の宮町から旧阿蘇町に通じる、道目木線の早期改良舗装の



井手 明廣

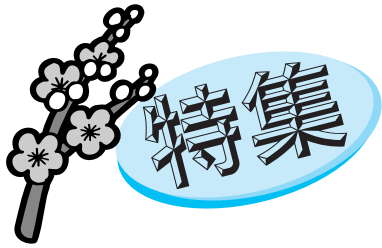
考えは。また、地域の方々からの陳情等が提出されていると思つが、

阿南土木部長 平成17年2月に陳情書はいただいたています。集落内での利用頻度も高いということで、時期は別として舗装工事を行う方向で検討していきます。

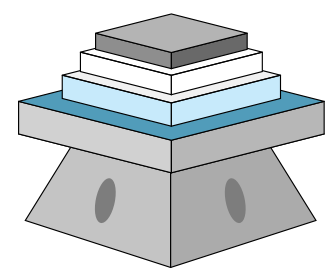
井手 宮地古神、五本松から南への道路拡張整備、その後の進捗状況はどのようになつたか。



早期改良が望まれる道目木線



菱餅の由来



菱餅は、下から緑、白、ピンクとなっています。これは、緑は草萌える大地を、白は雪の純白を、ピンクは桃の花を表していると言われています。つまり、春近い季節、雪の下には緑の草が息づき始め、溶けかけた雪の残る大地には桃の花が芽吹くという、とっても風情ある組み合わせなのですね。

起源は諸説あります。

ヨモギ餅の上に、紅白の餅を置いたことに由来するとも言われています。ヨモギは、古来より厄を払う華草で、遺血作用があり、桃は古代中国では、魔除けの力があるとされ、皮膚病の薬としても珍重されていました。また、菱餅の赤は、くちなしで染められていて、解毒作用があったそうです。いずれも、汚れを払う薬草ですから、縁起がよいわけです。



親子ひな壇